

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	唐津市立肥前中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> どの評価項目も全体としては概ね達成できた。 昨年度と比べて、到達度Aが5個から3個に、Bが8個から7個に減少した。各評価項目で明らかになった課題について具体的な改善策に取り組みたい。 唐津市学力向上指定校として2年目となる令和2年度は、具体的な改善策・向上策を年間計画に基づいて実行し、学力向上をさらに推進したい。
------------------	---

2 学校教育目標	いつも誰もが来てよかった 肥前中
----------	------------------

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 肥中生の学び力を育成する学習指導法を工夫する。 ② 保護者との連携・小中連携を推進する。
------------	---

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目				進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	学校関係者評価		
評価項目	重点取組	取組内容	成果指標(数値目標)					評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学校アンケートで、「自分の考えを話したり、書いたりしているか」の割合を年度初めより10ポイント向上させる。また、家庭学習を1時間以上行う割合を10ポイント向上させる。	●各教科でアウトプット活動主体の授業実践を行う。 ●各教科でアウトプットを意識した家庭学習の指導を行う。							研究主任・学力向上CD
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○特別の教科道徳で、年間計画に沿った授業を実施し、授業を通して肯定的な意見に変容する生徒が70%に達することを目指す。	●道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施。							道徳教育推進教師 人権・同和教育(
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	●DV予防教育講演会を12月に実施する。 ●命の教育講演会を6月に実施する。 ●アンケートを定期的に実施する。							生徒指導主事 保健主事・教育相談
	○生徒が夢や目標を持ち、学びを人生や社会に生かそうとする人間性の涵養	○各学年で年1回進路・職業に関する会を行い、3年間を見通した進路指導を推進する。	●1年生と2年生は、3月に先輩に学ぶ会を実施する。 ●3年生は、10月に高校説明会を実施する。 ●立腰帰りの会放送で、生徒が将来の夢等についてスピーチする。							進路指導主事 教頭
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の生徒80%以上 ●「起床時間と睡眠時間を設定している」と回答する生徒80%以上 ●「健康に食事は大切である」と考える生徒80%以上	●生活習慣アンケートの実施する。(運動・生活リズム・食事・安全について) ●生徒会の給食実践部が「学習と食生活」のスライドを作成し伝達する。 ●各担任が「スポーツと食生活」のスライドを用いて講話をする。							体育主任(原田) 保健主事・教育相談(山崎)
	●「安全に関する資質・能力の育成」	●生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	●交通安全教室を5月に実施する。 ●自転車点検の実施する。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間の上限を遵守する。	●毎週定時退勤日を設定する。 ●業務記録票により毎月の時間外勤務の状況を可視化し、各自改善を図る。 ●学校閉庁日を設定する。							教頭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価				主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○開かれた学校づくり	○ICTを活用した情報発信	○「学校は情報発信に努めている」と答える保護者の割合を85%以上にする。	●はなまる連絡帳の更新頻度を高める。 ●地域の団体等と協働した教育活動を実践する。							
○小中連携	○小中連携による共通理解と共通実践	○年度初めと比べて、家庭学習への取組が充実したと答える生徒の割合を80%以上にする。	●学ぶ意欲を高める自主学習ノートの取組等を学年に応じて実践する。							教頭・教務・研究主任 各学年赴任

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--